

「 「 「 「

「 「 ☆高速道路会社の取り組み

.....

◆◆◆本四高速による美術館・博物館との協力を通じた地域連携の推進◆◆◆

－「せとうち美術館ネットワーク」の取り組みを中心に－

(本州四国連絡高速道路株式会社 地域連携事業企画部 事業企画グループ)

当社では地域連携活動の一環として、瀬戸内地域に点在する美術館や博物館をネットワーク化し、文化・芸術面から地域交流を促進することを目的とする「せとうち美術館ネットワーク」という活動を行っている。本稿ではその枠組みの中で行った今までの事業について、最新の事例を中心に紹介していく。

「 「 「 「

「 「 ☆道路占用 Q&A

.....

◆◆◆電気自動車等用充電機器の道路上での設置に関するガイドラインについて◆◆◆

(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

令和5年5月12日に公表された「電気自動車等用充電機器の道路上での設置に関するガイドライン」の内容について解説します。

「 「 「 「

「 「 ☆地域における道路行政に関する取り組み事例

.....

★「DXで行政サービス向上を！佐伯河川国道事務所 with AI さくらさんについて★・\*:.。

(佐伯河川国道事務所 道路管理課)

佐伯河川国道事務所において、令和4年4月1日に出張所の統合を行ったことにより、竹田市に所在する竹田維持出張所で国道10号及び57号の107.4kmの道路を管理することとなりました。

その際に国道10号を管理していた旧佐伯維持出張所（佐伯市弥生）を閉所し、番匠川等を管理する河川の出張所である佐伯出張所を現在の場所に移転しました。

以上の要素が重なったことで、①行政サービスの維持②道路、河川の総合防災機能向上③業務効率化を図るため、AIを活用した来訪者対応システム（AI さくらさん）を実証実験の

ため佐伯出張所に導入しましたので、紹介します。

.....

**★一般国道 195 号「大柘橋」の開通★°・\*:.。**

**(高知県 土木部 道路課)**

高知県が香美市物部町大柘地区で整備を進めてきた一般国道 195 号「大柘橋（おおとちはし）」が令和 4 年 8 月 11 日に開通しました。この新しい橋梁の開通により、大型車両の安全な通行確保だけでなく、南海トラフ地震などの大規模災害時には、緊急輸送道路として救助活動などを支える「命の道」となります。

本稿では、橋長が 200m を超え、ダム湖内に橋脚を設置することなくロングスパンで渡河する「大柘橋」の架設工事を中心に事業の概要をご紹介します。

.....

**★清流四万十川のシンボル「岩間沈下橋」復旧の取り組み★°・**

**(四万十市 西土佐総合支所 産業建設課)**

本市は四万十川に代表される魅力あふれる自然環境、山川海の豊かな幸を満喫することが出来ます。本稿では、岩間沈下橋の座屈発生から 3 年 5 カ月ぶりに全面開通に至るまでの橋梁メンテナンスの取り組みについて紹介します。

┌┌┌┌┐

┌┌ ☆編集後記

.....

家で過ごす時間の中で、美味しく手作りのものを食したい気持ちが芽生え、今回は、以前から気になっていた蕎麦打ちに挑戦してみました。

店舗にて蕎麦をいただくとき、二八蕎麦（にはちそば）という呼称をよく目にします。江戸時代の蕎麦は、物価統制によって 16 文と決められていたようで、粋としゃれ言葉を好んだ江戸っ子が、「にはち 16」に掛けて、二八蕎麦と呼んだという説があります。一方、現代では、蕎麦粉とつなぎの小麦粉の配合割合を表す用語で、つなぎが二割使われていることを指すことが多いようです。

二八蕎麦を打つには、蕎麦粉 8 割、小麦粉 2 割、粉の 45%~50%程度の水が材料となります。例えば、約 500g の蕎麦（5 人前）をこしらえるための材料は、蕎麦粉 400g、小麦

粉 100g、水 225cc~250cc となります。また、粉を練る鉢、練り上げた生地を延ばす棒、こま板（生地の上に乗せて、ずらした間隔によって麺の太さを調節できる道具）と麺切り包丁などの道具も必要となります。先日、知人が持つ道具一式にて挑戦してみましたが、茹でるとホロホロと短く切れてしまいました。長くて 10 センチ程度であり、すすることが困難な長さのものが多く、蕎麦打ちの難しさに直面しました。悔しさが残ったため、後日、自宅にて再挑戦してみることにしました。道具は持ち合わせていないので、中華用の鍋を鉢の代わりにし、台所の天板で生地を延ばし、こま板と麺切り包丁は借りていたものを利用しました。太いものや、短いもの、生地がくっついてしまったものと、かなり不格好な出来ではありましたが、すすれる長さの生蕎麦を打つことができました。1 人前に減らして打つことが功を奏したと思われます。

長引いた新型コロナウイルス感染症への対応。以前とは少し異なる部分もありますが、自由に移動できるなど、やっと日常が戻ってきました。蕎麦屋巡りや、白い花でいっぱいになった蕎麦畑を鑑賞しに行くなど、ここ数年我慢していたお出かけを楽しみたいと思います。(U)